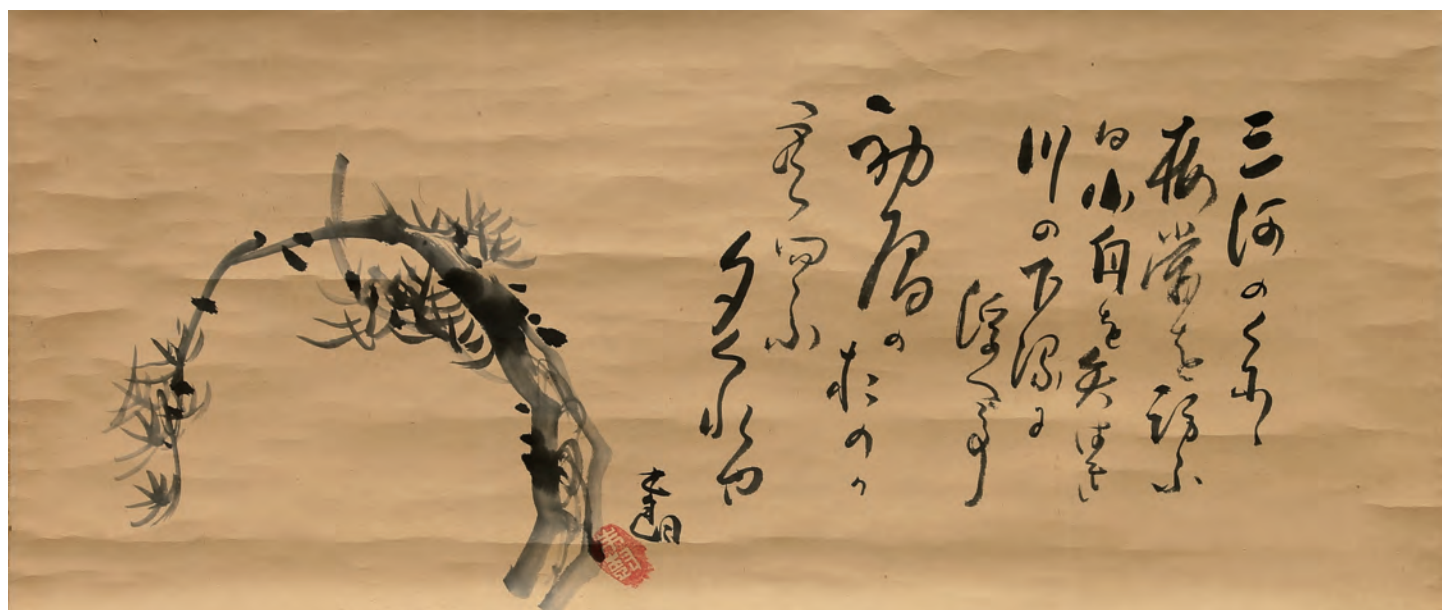


令和2年度歴史系企画展

没後 180 年 俳人 老 櫟 ばい ろう

～文芸を^{たしな}嗜んだ碧海郡平七村・中根又左衛門～



士朗画賛「初雁のおのか空間ふたくれや」（個人蔵）俳諧の師・士朗が櫟老宅を訪れ矢作川下流に遊ぶ

令和3年 2月2日[火]～3月4日[木]

9時～21時（月曜日休館）

碧南市文化会館（碧南市源氏神明町4）1 階展示室 1

観覧無料

主催 碧南市・碧南市教育委員会

協力 碧南市文化財保護審議会

お問い合わせ 碧南市教育委員会文化財課

TEL 0566-48-6602（月曜日～金曜日）

<http://www.city.hekinan.lg.jp/soshiki/kyouiku/bunkazai/bunkazaikakari/index.html>



1



2



3

- 1 画像 ありし日の中根家旧宅の土堀（現碧南市東浦町五丁目）
- 2 中根又左衛門正利伝 榎老の祖正久が加茂郡中垣内村に移住した部分
- 3 三州矢作川流末伏見屋新田地先新開場絵図（前浜新田絵図）

学問に励み、俳諧や蹴鞠、茶湯、華道など趣味も豊富な、三河国碧海郡平七村の榎老（中根又左衛門家六代親孝 1785-1841）の没後 180 年を記念した企画展です。

延宝元年（1673）当地に移り住んだ中根又左衛門家は廻船や川船を所持し酒造を営み、やがて村の大地主となりました。本展では、故中根佑治氏所蔵資料のなかから、特に前浜新田の開発に取り組み、俳諧や蹴鞠など文芸を嗜んだ大地主であった榎老に焦点をあててご紹介します。

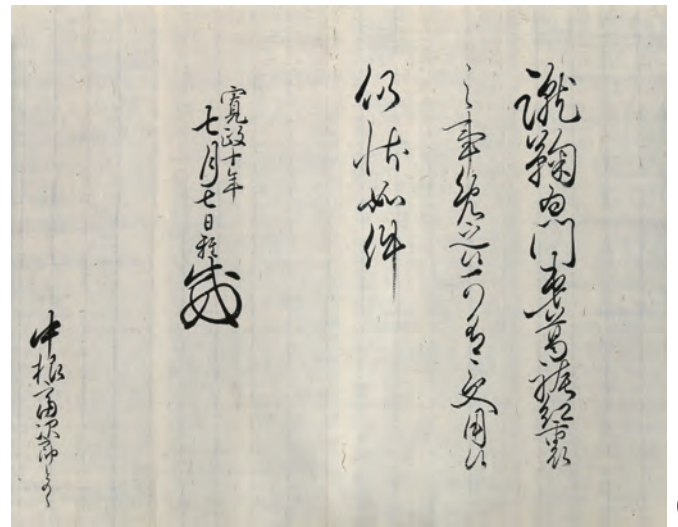
本展を通して、江戸時代後期に碧南地域に生きた一豪農の社会的・文化的な姿をご覧いただきます。



4



5



6

- 4 馬淵嵐山書「魁齋」 魁齋は榎老の軒号。
- 5 俳諧一枚刷（三州平坂湊秋葉山常夜灯奉納神祇之発句）
- 6 蹴鞠装束免状 中根富次郎（榎老）宛
(以上すべて個人蔵)

●ギャラリートーク（担当学芸員による展示説明会）

令和 3 年 2 月 6 日・13 日・20 日・27 日（土）14 時～15 分程度。予約不要。展示会場にお集まりください。

会場 碧南市文化会館

碧南市源氏神明町4番地 TEL 0566-42-3511

交通のご案内

●名鉄三河線 碧南中央駅下車、東方向へ徒歩約 10 分。